

和歌山県立医科大、 20 年度医学部定員 25 人(42%)増の 85 人に！ 増員 5 人は県内枠で返還免除の奨学金支給、 20 人は県内病院勤務の誓約書提出

旺文社 教育情報センター
19 年 10 月 24 日

医師不足や偏在などを解消するために急遽打ち出された『緊急医師確保対策』（以下、緊急対策）については、当 Web サイト（07 年 10 月 18 日付け；下記 URL 参照）でお知らせしたとおりである。

この「緊急対策」を受け、20 年度医学部（以下、医学科に限定）定員について現在、公立 8 大学中、6 大学で定員増に向けた具体的な検討を行っているが、和歌山県はこの程、和歌山県立医科大の現行の定員 60 人を 20 年度から 85 人（41.7%増）にすることを決定した。

大学としては明日（10 月 25 日）午後、HP 上で選抜方法等の詳細を発信し、11 月上旬配付の「募集要項」に掲載するとしている。

25 人増のうち、5 人（「緊急対策」の県内枠）は和歌山県内の高校出身者に限定され、知事が指定する医療機関勤務を条件に“返還免除となる奨学金”が支給されるという。残り 20 人（「緊急対策」の大学枠）は県内中核病院勤務の“誓約書提出が条件となるが、奨学金の支給はない”ようだ。都道府県に対する「緊急対策」の条件としては、奨学金支給が提示されているが、その適用は 5 人に限定されるようだ。

和歌山県立医科大では増員の 25 人に対し、地域医療などに対する特別なカリキュラムを編成するとともに、4 割増となる学生の受入れに対し、教室の増改築など、設備整備を急ピッチで進めるという。

なお、医師養成数が少ない県として和歌山県と同じく、神奈川県横浜市立大一医（現在定員 60 人）も「大学枠 20 人増」の方向で検討中だが、神奈川県と横浜市の 2 つの関係機関が絡んでいることなどから、現時点では決定に至っていない。

* 当 Web サイトの URL ；

大学進学 INFORMATION 「パスナビ for Teachers」

<http://passnavi.evidus.com/teachers/>